



合格発表に沸く

人生第一の関門を突破！

公立高校の合格発表が3月15日午後5時に各校で一斉に行われました。鷹巣高校では、時おり吹雪が舞うなか自分の目で確かめようと受験生が訪れ、発表時間を待ちました。名簿が張りだされると同時に自分の名前を見つけ「ヤッター」、「キヤー」と友だちと手を取りあい大喜び。難関突破に心はずませておりました。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

2月29日現在	(前月比)
総人口 24,725人	(1人増)
(出生 7人 転入 48人)	
(死亡 18人 転出 36人)	
男 12,014人	(9人減)
女 12,711人	(10人増)
世帯数 7,303世帯	(3世帯増)

21世紀をめざし

明るく豊かな町づくり

63年度
一般会計

行政サービスの効率を図るため

OA機器を導入

昭和六十三年年度の当初予算は、国の内需を中心とした景気の持続的拡大と行政改革を強力に推進するなかで、国の公共事業などの補助負担率の見直しによる財政負担増の厳しい現状を踏まえながら「たくましく柔軟な産業の町づくり」「安全で快適な生活環境の町づくり」「健康で生きがいのある福祉の町づくり」「ゆとりと個性のある教育文化の町づくり」の実現をめざし、限られた財源を効率的に執行することになりました。目的別の主な予算は次のとおりです。

総務費

七億一千五百六十八万三千円で、歳出全体の構成比は、一四・二割。前年度当初予算に比べ伸び率は九・二割増。

総務費は、総務、企画調整、財政、税務の各課と収入役室、町民課戸籍係、選挙管理委員会、監査委員の人件費や物件費等の経常的経費を予算化しているほか、地籍調査事業や町史編さん、OA化推進費、広域圏組合負担金、交通安全対策、協力委員などに関する費用が計上されています。

- ▽広報発行 七、八六二千元
- ▽議場改修 三、五〇〇千元
- ▽地籍調査 五九、六一五千元
- ▽町史編さん 七、一七四千元
- ▽OA化推進 三六、一〇〇千元
- ▽交通安全対策 七、五三四千元
- ▽広域圏組合事務費負担金 一〇、二〇八千元
- ▽納税貯蓄組合奨励金 三、五〇六千元
- ▽町税前納報奨金 二、九五二千元
- ▽協力委員手当 四、四〇四千元
- ▽町内会館管理運営費 一、五九一千元
- ▽庁舎清掃 二、六四〇千元

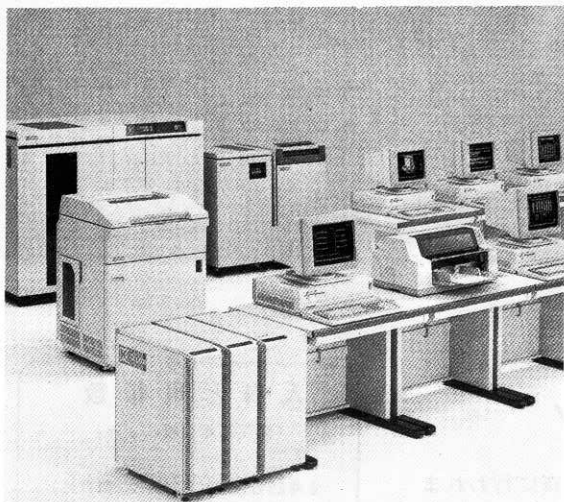
民生費

五億二千七百四十九万六千円で、構成比は一〇・五割、伸び率は二・六割増。

福祉活動の拡充強化を図るため、家庭奉仕員の派遣、在宅福祉活動費などです。

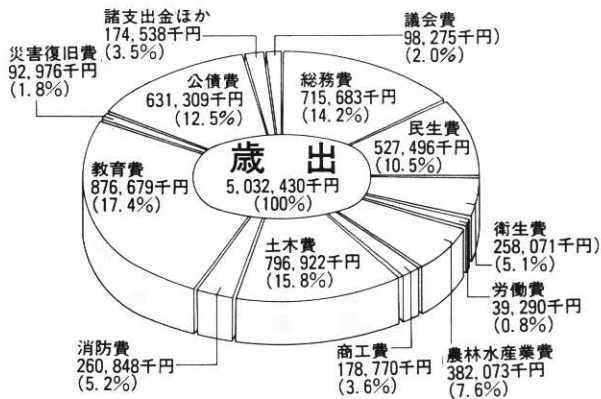
- ▽民生児童委員 三、五二〇千元
- ▽町社協 二、〇〇〇千元

- ▽青山荘償還金 二、九三三千元
- ▽敬老式祝品等 七、六一八千元
- ▽在宅福祉活動 二、四九一千元
- ▽家庭奉仕員 一四、六一八千元
- ▽浴場利用補助 一、二〇〇千元
- ▽老人クラブ 三、八五五千元
- ▽老人入院介護 一、九七一千元
- ▽身障福祉 一、四六三千元
- ▽精薄生活ホーム 二、七二二千元
- ▽福祉医療 六一、五〇六千元
- ▽老人保健 六七、七二二千元
- ▽保育所措置 一五、三六〇千元
- ▽児童手当 二二、七七〇千元
- ▽母子父子福祉 五二二千元
- ▽町立保育所 八八、二七二千元
- ▽へき地保育所 一七、一六四千元



情報化時代に即応して、OA（オフィス・オートメーション）化による正確で迅速な事務と膨大な資料を処理するコンピュータ。

一般会計歳出の内訳



衛生費

▽児童館運営 一〇、二五八千円
▽国民年金事務 一三、六四八千円

二億五千八百七十一千円で
構成比五・一割、伸び率は三・
四割増。

町民の健康を守るため、健康
管理意識の向上、予防医療
と病気の早期発見に努めると
ともに環境衛生に万全を期す。

▽保健活動 一六、八四二千円
▽保健推進 二一、二四五千円
▽結核予防 五、三四四千円
▽予防接種 五、二五九千円

労働費

三千九百二十九万円で、構
成比〇・八割、伸び率は一五・

農林水産業費

三億八千二百七十三千円で
構成比は七・六割、伸び率は
一八・四割増。

水田農業確立対策による転
作田の利活用を図り、農村の
生産基盤と環境基盤を整備す
る農村モデル事業の推進と、
林業の振興、慶祝森林公園の
整備に努めます。

▽農業委員会 三六、三二七千円
▽天災融資利子 六三八千円
▽信用基金出資一、四二〇千円
▽水田農業確立対策推進事業 一六、一一一十千円
▽汚染米防止 一、一三三三千円
▽畜産振興 二、三九八千円
▽農林業センター管理委託 一〇、二六八千円
▽農道整備 二一、三四五五千円
▽農免農道 二五、一六七千円
▽排水対策 一九、七二六千円
▽団体営整備 二、〇九七千円

商工費

一億七千八百七十七万円で
構成比三・六割、伸び率は六・
八割増。

中小企業の経営安定を図る
預託、出資金等の措置を講じ
地元業者の育成強化と観光開
発に努めます。

▽商工会補助 四、二二〇千円
▽テクノサテライト 九六〇千円
▽産業祭 三、〇〇〇千円
▽融資保証料 三、六〇〇千円
▽資金預託 一〇、〇〇〇千円
▽商工中金 二〇、〇〇〇千円
▽保証協会出資金 四六〇千円
▽商品開発事業 五〇〇千円
▽竜ヶ森整備 四五〇千円
▽観光協会補助 三、六〇〇千円
▽ふるさと踊り一、二〇〇千円
▽温泉管理 八、〇四九千円

土木費

七億九千六百九十二万二千

円で、構成比一五・八割、伸
び率は二五・六割増。

町道の改良・舗装工事をは
じめ、橋梁、都市下水路、街
路事業や河川公園事業などを
進めます。

消防費

二億六千三十四万八千円で
構成比五・二割、伸び率は三・
八割増。

広域消防組合負担金や消防
団員の報酬、費用弁償のほか、
消火栓や防火水槽などを設置
▽広域消防費 一三、八四六千円
▽非常備消防 三、七一九千円
▽消防施設整備(消火栓、防
火水槽、器具置場、防火セ

教育費

▽シター用地 一八、九三四千円
▽災害対策 三、二六千円

八億七千六百六十七万九千円、横成比一七・四割、伸び率は一割の減。

教育環境、教育条件の一層の整備拡充とたくましい心と体力づくりに努め、学力の向上、郷土愛を強調し、青少年の健全育成に万全を期します。

▽私立幼稚園 五、一二二千円
▽私立学校等 一、〇一〇千円
▽学校安全会 一、七三二千円
▽通学費補助 八、七〇一十千円
▽理科センター 一、八三三千円
▽教育研究所 二、六一〇千円
▽小学校整備 二四、五〇〇千円
▽鷹小用地 五五、〇一三三千円



21世紀をになう子供たち—東保育園—

▽小教育振興 七、九二九千円
▽中学校整備 二、三〇〇千円
▽南中用地 一九、八〇七千円
▽選手派遣費 三、六八〇千円
▽中教育振興 六、八三二千円
▽寄宿舎 一〇、六九四四千円
▽幼稚園 三三、九九〇千円
▽学校給食 二三七、二八九千円
▽社会教育活動 三、六四八千円
▽成人式 九七六千円
▽テレビ共聴施設 四、五〇〇千円
▽広域社会教育費負担金 一七、九四〇千円
▽公民館管理 六、二四〇千円
▽図書館 三、八一二千円
▽文化振興 二、七三九千円
▽東北バドミントン 五〇〇千円
▽東北中学校駅伝大会 五〇〇千円
▽スポーツ振興 一、七五〇千円

その他

▽広域保健体育負担金 一九、〇八〇千円
▽体育施設整備 二八、二〇〇千円

■議会費 九千八百二十七万五千円、横成比は二割、伸び率は五割の減。

▽議員報酬 四九、五〇〇千円
▽議会報発行 一、〇五〇千円
▽会議録調整 一、三〇〇千円
▽災害復旧費 九千二百九十七万六千円、横成比は一・八割、伸び率は一六九・二割増

▽農業施設 一九、六六七千円
▽林業施設 一五、五三五千円
▽土木施設 五七、七七四四千円

■公債費 六億三千三百三十万九千円、横成比は二一・五割、伸び率は一・九割増。

▽起債元金 三三四、五三二千円
▽起債利子 二七七、二二八千円
▽一時借入利子 九、五〇〇千円
■諸支出金 一億五千四百五十三万八千円、横成比は三・一割、伸び率は一二割増。

▽スポーツ環境整備用地取得 一六、二〇三三三五千円
■予備費 二〇、〇〇〇千円



町長日記

3月1日～15日

■1日(火) 鷹巣農林高等学校の卒業式に出席。
■2日(水) 鷹巣高等学校の卒業式に出席。

■3日(木) 地域活性化フォーラム秋田。「地域づくりと自治体の役割」をテーマに、財団法人地域活性化センター、県、町の主催で、東北では二回目(一回目仙台市)、全国で十三回目の開催である。県庁所在地以外で開催されるのは本町がはじめてで、主として県内

の市町村職員が対象。県内と県外の二つの事例発表、講演が行われ、二百五十人余りの参加者に大きな示唆と余韻を与え、盛会そのものでした。

■6日(月) 恒例の田中地区敬老会に出席し、お祝いを述べた。地域の発展に貢献されたお年寄りを、田中自治会独自で企画、みんなで祝う会である。

■10日(木) 鷹巣町婦人会

史出版記念会。四年前婦人有志の発案で「鷹巣町女性史研究会」が発足。以来、本町の婦人会及び女性の歴史的足跡の資料を収集し、且つ多くの記憶をたどりながら調査、研究を重ね、遂には将来の記録集としての編集へと事が運ばれ、多くの障害をのり越え出版となった。全県的にも類例のない快挙であり、会誌編集委員達に敬意を表したい。発刊した「婦人会史」は、婦

人会の思い出、激動をのりこえてなど、戦中、戦後の時の流れにかかわった女性の生活がぎっしり綴っている。より多く、内外の方々に、広く購入(二冊三千元)と愛読を奨めたい。

■13日(日) 鷹巣南中学校の卒業式に出席。

■15日(火) 県立宮農大の卒業(修了)式に出席し、祝辞を述べた。

「大太鼓の館」に夢ふくらむ

力作40点が応募



入選したイワテ・スペース・デザイン作品

鷹巣町が全国に誇る綴子の太鼓をメインにした「大太鼓の館」(仮称)構想案を広く募集したところ、東京はじめ町内外より四十点の応募がありました。

寄せられた作品はいずれも独創的でシンボル性があり、アイデアがいっぱい詰まったものばかりで、二月二十五日に審査会を開き各賞を選定しました。

町では、綴子地内の国道七号線沿いに約二万平方メートルの用地を取得し、四月中に基本設

計に入り九月頃には着工の意向であり、青写真に十分生かすことにしております。

三月十一日役場会議室において入選、準入選各一点、佳作五点のほか、審査員奨励賞一点を表彰いたしました。

入選となったイワテ・スペース・デザイン代表斉藤孝一さんは建物のイメージとして、「全国にある太鼓を集め、イベントができるように三カ所の舞台を設け、歴史の中から生活、教育、文化の象徴を作りあげたかった」と述べました。入賞者は次のとおりです。

▽入選(賞金五万円、副賞二万円相当の品)〓イワテ・スペース・デザイン 斉藤孝一(盛岡市)

▽準入選(賞金三万円、副賞一万円相当の品)〓草階建築創作所 草階郷甫(秋田市)

▽佳作(賞金一万円、副賞五千円相当の品)〓アール・コープ・バウハウス 畠山博樹(前野)、九島寮二(伊勢町)、芳賀工務店 芳賀喜行(あけぼの町)、奈良田建築設計事務所 奈良田勝正(旭町)

松尾昭利(住吉町)

▽審査員奨励賞〓南中学校三年近藤雄樹、小塚貴紀、長岐裕行(共同作品)

奈良氏に県スポーツ栄誉賞

大館・北秋で初めて



ら、無事終了した時の感激だそうです。少年時代、体は弱かったものの剣道、弓道、乗馬などに情熱を燃やし、現在も毎朝木刀の素振りには欠かさない。

(財)秋田県体育協会は、地域スポーツの振興に功績が顕著な個人を表彰する「秋田県スポーツ栄誉賞」を、奈良康一氏(71)住吉町七―一に贈り、その栄誉を讃えました。

奈良氏は、昭和三十四年、町体協創立時から副会長として尽力し、五十三年九月に、県内の町村で初めて体協を法人化に導き、一千万円の基金を実現させ、現在は会長としての実績が高く評価されたものです。

この間、一番印象深かった事は、昭和三十六年の秋田国体を控え、九つの単協で町体協を組織、一丸となり受け入れ体制を整えなが

体協のビジョンとして、「町民みんなが参加できる組織づくりをさらに広げ、スポーツ医学を取り入れ科学的なデータを基にした指導体制づくりを進めたい」と語ってくれました。

また、受賞を記念して体協基金に、百万円を寄附されました。

【奈良氏の主な経歴】〓旧大館中、旧弘前高、新潟医科大学大卒。三十四年より六十年五月まで町体協副会長、同年より現在まで会長。三十五年四月より五十二年まで町剣友会会長、同年より現在まで顧問。ボーイスカウト秋田連盟第二十一団委員長。

七座地区の「町長と語る会」

七座地区連絡協議会（熊谷範義会長）では、三月十二日（土）午後一時三十分から、前山会館で「町長と語る会」を開催、各集落や各団体から三十人余りが出席し、地域でかかえている要望事項等について質疑がなされました。

「語る会」に出席した出川町長は、あいさつの中で、六十三年度以降に予定される地域内の関連事業について述べ、町道坊沢・前山線の改良問題を取り上げ「黒沢の急勾配箇所を現在の一四割の斜度を一

〇割以内に削り取り、通行の緩和を図りたい」また、昨年六月末に廃止措置となった、鉾さいパイプ橋について「向黒沢橋は綴子農免農道事業による架橋が予定されているため、解体は止むを得ないが、

蟹沢橋は地元からも是非存続をと強い要望もあり、町としても何らかの方策を講じなければと考えておる。これまで補修等行ってきたが、経費負担面においても苦慮している現状である」と述べられました。

質疑の主な内容は次のとおりです。

▽前田堰生活雑排水の処理を町では生活汚水の処理は行っていない。本来は生

活汚水を出す個人が経費負担して処理すべきである。

▽農村健康広場の造成を農林関係の補助事業として取り上げることができると、その際用地は地元提供が原則である。広場の具体的活用方法など地元の要望等検討してみたいと思う。

▽向町町道の延長を用地の提供等があれば検討する。

▽大町の町道の側溝にフタを早急に対応したい。

▽伊勢堂の団地を舗装「行政の均衡を考えるとむずかしい。業者等が開発した用地については本来土地を分譲した業者が行うもので、その後、町に寄贈するというのが望ましい。

小堤の遊園地の整備「水路等の問題もあり検討を要するが、六十三年度中にメドをつけたいと思う。

▽スキー場トイレの増設「雪上車の収納庫と併せて考えてもよいが、予算関係もあるの

で検討する時間がほしい。

▽狭い道路であるが、拡幅については用地の提供等があれば検討する。現在の道路については簡易舗装することを考えている。

文化財保護シリーズ ②

重要文化財の課す義務は

文化財は国民の貴重な財産であり、所有者は大切に保存するとともに、できるだけ公開するなど、文化的活用に必要な措置を講ずるべきである。

さらに重要文化財の指定を受けると、管理や修理、公開などを行い、場合によっては届出や許可申請しなければなりません。

また、所有者が自分で管理できない事情がある場合は、管理責任者を選任して管理にあたらせることになります。

この方法も無理な場合は、文化庁長官は教育委員会などの法人を指定して管理させる制度もあります。

所有者が、管理責任者を選任・解任した場合、住所、氏名を変更した場合、全部または一部の滅失・き損の場合、亡失、盗難の場合は文化庁長官への届出が義務づけられています。

重要文化財の現状を変更

し、または保存に影響を及ぼす行為をしようとする場合は、文化庁長官の許可を受けなければなりません。たとえば建造物の移築、仏像や絵画の撮影のために強い照明をあてることなどが該当します。

重要文化財を有償で譲渡しようとする場合は、譲渡の申し出承認をえなければなりませんし、転出する場合は文化庁長官の許可をえなければなりません。

重要文化財の公開は、管理団体が存在しない場合は所有者が行います。また、文化庁長官が行う公開への出品や、文化庁長官の命令・勧告に基づく公開の制度もあります。なお、所有者や管理団体以外の者による重要文化財の公開は、文化庁長官の許可が必要です。

所有者は、必要によって文化庁長官から重要文化財の現状管理について報告を求められることがあります。

農業者年金

老後のため

加入しま

しよひ



農業者年金は、農業者の方々の強い要請でつくられた制度です。

昭和四十五年に発足して以来十八年目を迎え、受給者は年々増加し、現在、農業者年金をもらっている人は五十四万人に、加入者は七十五万人となっています。また、年金額も年々増加し、六十五歳までの経営移譲年金の受給額は、月額で六万円を超える水準となっています。

このように、農業者年金は、全国の農村にしっかりと定着し、農家の暮らしと農業の構造改善に、大きな重みを持つ重要な制度となっています。

加入の対象となる人

農業者年金の被保険者には必ず加入しなければならない「当然加入被保険者」と本人

の希望により加入することができる「任意加入被保険者」とがあります。

資格要件は次のとおりです。

◆当然加入被保険者

自分名義の農地等が、五十[㍗]以上の農業経営主であること

◆任意加入被保険者

▽農業経営主

自分名義の農地等が三十[㍗]以上五十[㍗]未満で、年間の農業労働時間が七百時間以上であること

▽農業生産法人の構成員

法人名義の農地等を構成員数で割った面積に自分名義の農地等の合計が五十[㍗]以上であること

▽農業後継者

自分名義の農地等が五十[㍗]以上の農業経営主の直系卑属（子や孫）で、農業後継者として指定されていること（農業従事期間が通算して三年以

上、加入申し出の日まで引き続き六カ月以上ある人に限られます）

◆特例・高齢任意加入被保険者

共通の資格要件である「六十歳までの期間」は二十年に達しないが、六十五歳までには二十年以上となる場合は、その他の資格要件を満たせば加入することができます。

保険料と納付方法

保険料には「通常保険料」と一定の若い後継者に適用される「特定保険料」とがあります。納め方には、一年分を一括して納める「前納納付」と年四回に分けて納める「普通納付」の方法があります。保険料は次のとおりです。

＜保険料の月額＞

区分	通常保険料	特定保険料
昭63	9,180円	6,550円
昭64	10,020円	7,150円
昭65	10,850円	7,740円
昭66	11,690円	8,350円

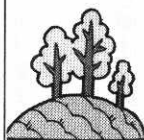
くわしいことについては、役場農業委員会（☎六二一一）へお問い合わせください。

特定保険料の3要件

1 35歳未満であること

2 農業に常時従事していること

3 後継者を指定した経営主の経営面積が一定規模以上であること



春の交通安全運動

4月6日～4月15日

みんなで育てよう
交通マナーと思いやり

運動の重点

- 新入学(園)児を中心とした子供と高齢者の交通事故防止
- 安全運転の励行、特に飲酒運転等無謀運転の徹底追放
- 正しい方法によるシートベルトの着用の徹底

4月10日(日)10時より正午までジョイプロムナードで交通安全まつりが行われます。

鷹巣町・鷹巣警察署
鷹巣地区交通安全協会

3日～9日

春の火災予防運動

消えたかな！
気になるあの火もう一度

イベントの前に 人づくりを

小猿部開発セミナー



七日市、沢口地区の開発と活力ある「むらづくり」の建設をめざして小猿部セミナーを開いておりますが、地域の活性化にむけて取り組みをすることを決意して、三月十八日沢口林業センターで開講式が行われました。

同セミナーは、開設して三年を経過しましたが、これまで住みよい住民自治、特産品の開発や岩手県の大迫町などの先進地を視察するなど、研修を深めてきました。

開講式には、自治会長や地区住民など三十八人が参加。比内町が実施している「とり

の市」で、地域おこしを進めているトリトン共和国大統領の野呂金悦氏の講演を聞いた後、小猿部の地域を考える座談会が行われました。

若い世代の声を聞き

地域ぐるみの協力を

座談会では参加者から、地域のかかえている問題点や反省をふまえて、地域の特性を生かした提言が出され、住みよいむらづくりに活発な意見が交わされました。

問題点や反省では▽時代は便利になったが心がわびしい。人間関係をよくしなければ▽

小猿部地域が一体となって取り組むことが必要。攻撃的な面も出す必要がある▽農家の所得を上げるため、野菜などの特産化に対し広域的に協力しあうこと▽長いを生産しても青森の名前で出荷している▽請負耕作が進むように努めなければならない▽イベントをやる前に人づくりが必要。

また、意見や提言では▽農家の生産量が少量でも共同出荷できないだろうか▽バレイショは全国の産地が手薄になったころ生産できる▽老人クラブでも何かできるものを掘り越したい▽小猿部地区で作る、育てる、売るものをみつきたい……など。

このほか「若い世代の声を聞いて、地域ぐるみ協力することが大切」という声も出されました。

小猿部開発セミナーは今年で終了しますが、これまでの研修でそれぞれの意見やアイデアが出され、行動力が芽ばえてきましたので、今後は自らの地域の活性化をはかるため、自治会や農協、地区公民館などが協力しあって、協議を重ねながら、豊かで恵まれた地域づくりに努めることとなります。

ふるさと人物伝

千刈青坡

(本名 藤三)

一九〇五—一九八一

「夜に入る一瞬の巷夏柳青坡」これは私が観音堂岱分校勤務の昭和二十五年頃、本校の千刈校長先生から頂いた達筆の短冊である。

藤三は明治三十八年、能代市柳町に生れる。大正十三年秋田師範卒業、山本郡内の小学校訓導を歴任、昭和六年沢口小訓導、その後赤川、坊沢、七座の各小学校長となり昭和三十五年退職する。彼の俳句歴は教師になった十九歳から、死去



するまでの五十七年間でその作は七〇〇〇句を超える。特に昭和十七年からは、石井露月、島田五空らが刊行し明治、大正期に全国俳壇に大きな影響を与えた「俳星」に投句し、小笠原洋々、石田三千丈の指導を受ける。その入選句集が「春雪」「新秋」となる。彼は昭和三十六年に「俳星」の課題吟選者にもなっている。

赤川句会、叢林句会（坊沢）あざみ句会（鷹巣女子学院）など、彼の行く所、必ず句会ができた。そして昭和四十七年「春雪」出版祝賀会で鷹巣町内が合同して誕生したのが鷹巣俳句会で現在十七人が毎月集まっている。

若い頃は沢口小で陸上競技指導に精魂を傾け、坊沢小学校では国語、算数の問題を自ら作り、全校テストを実施し採点集計する真面目一筋の校長であった。

「新秋の星また一つ生れたる青坡」の句を残して死去資料（藤島正人、五代儀幹雄、中島健一郎、嶺脇勉氏談並びに句集）文責長崎久

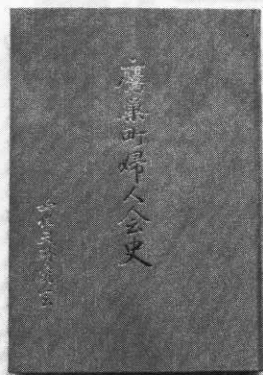


国際協力の一翼をになう

青年海外協力隊の一員として、新舟見町・畠山佳隆さん(22)がババア・ニューギニアに派遣されます。畠山さんは、会社に勤めていましたが「自分の技術を発展途上国に役立てたい」と思いたち志願したそうです。現地には10人の隊員とともに、2年間専攻した森林経営を生かし、植林から製品化まで指導することになりました。

太田に古くから伝えられている彼岸行事「百万遍」が3月17日、児童館で行われました。この行事は祖先の霊を供養するとともに、無病息災を祈るもので、約8メートルあまりの数珠を念仏をとるなか、太鼓と鐘に合わせて回していました。お年寄たちはこのひとときが一番気が休まると言いながら、昔の苦労話に花を咲かせていました。

百万遍で祖先を供養



「鷹巣の女」の足跡を綴る

鷹巣町婦人会史出版記念祝賀会が、3月10日中央公民館において盛大に行われました。この婦人会史は、戦中、戦後の激動期を耐え、明るく強く生きぬいた「鷹巣の女」の歴史、でもあります。59年から作業に入り、幾多の困難をのり越え完成しただけに、出席した婦人たちの顔には、大事業をなし遂げた満足感が満ちあふれていました。

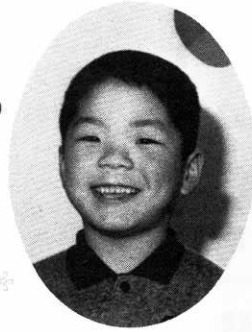
町内の中学卒業生は鷹巢中 268人、南中84人計 352人となっています。

南中学校では3月13日に早春の陽ざしのなか卒業式が行われました。式典のあと、玄関から校門まで並んだ恩師や下級生から励ましの言葉や花束などを贈られた卒業生は、数々の思い出に胸をつまらせ、ハンカチで目頭をおさえながら学び舎に別れを告げていました。

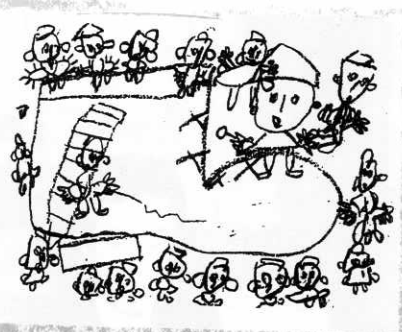
希望に満ちたスタート



の広場



鷹巣中央保育園
なりた じゅんくん(5歳)



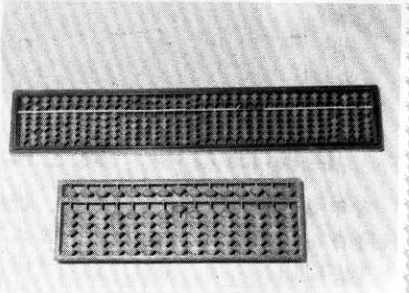
深 関
武藤 淑子(36)

今月のテーマ『入学式をむかえて』 明るく素直な子供に

寒くて長い冬も終わり、大好きなクレマン帽子ともお別れをして無事に二年間の幼稚園生活を終えることが出来ました。
四月からいよいよピッカピ

ッカの一年生。やさしい地域の人々に支えられ、すばらしい環境の中で学べることはとてもありがたいことだと思います。近所には友達も少なくどうしたら一人で遊びを生み出し、限らない創造性を伸ばしてあげられるか心配でした。今ではそんな心配もよそに遊び展があると金紙まちがいなしと言われるほどになり、ほんの少しですが豊かな心も持てるようになりました。
子供にはずいぶん教えられ

対談 わたしたちの意見



五球が二つのそろばん

(こんなの使ったかな?)

商店では大きくて底のついたそろばんで、ねだんの計算をしていたが、五球が二つのそろばんは、どうして使ったかなあ。「21天作の5」などの、そろばんのことばも、今は聞かれなくなった。

(松葉町・佐藤 富雄氏)



千葉の天候にもだいい慣れました

千葉県八千代市 岩 本 英 則(38歳)

鷹巣町を転出して今春で二十三年になりました。この間、秋田市の五年、愛媛県新居浜市の約一ヶ月の他は千葉県に住んでおります。千葉に移り住んだ時に強く感じたのは秋田との天候の違いでした。

日本海側の天候が変わりやすいことは有名で、男鹿半島沖が低気圧の発生地帯でもあるため秋田も例外ではないのですが、よその土地を知るまでは何処でもそのように思っていました。

今一つは冬の天候で、連日快晴に次ぐ快晴です。冬には当然のことながら雪が降るといふ感覚でおりまして、秋が長く続いた後いつの間にか春という気分です。冬の寒さという感じもありませんでした。雨や雪がちらちらするようになればもう春です。

しかし、今ではこの天気にも慣れてしまつて、ずいぶん寒いと思うようになってしまいました。

▽岩脇・岩本藤蔵さんの長男です。





鷹巣中央保育園
なががわ ゆうこちゃん(5歳)



みんな

ることもありますが、子供の成長に負けないよう共に学んでいきたいと思っています。「明るく素直な心をわすれないで、がんばってね」

楽しみにしている入学式



大 堤
三沢 牧子 (31)

「オギヤ」の産声から早六年。ハイハイ、アンヨ、一人歩きと成長のめまぐるしい一年が過ぎ、そして今度は、いたずら盛りと、好奇心旺盛な幼児期。親の心配をよそにどうにか卒園を迎えることが

広報のひかり

桜はわが国では平安時代

から春の花の代表として親しまれてきました。和歌や俳句で「花」といえば、桜の花に限られているのです。

ただし「サクラ」という言葉は、花のほかにもいろいろな意味に使われてきました。

できました。

入園当初は、わがままな息子が、集団生活で仲良く遊べるかしら？トイレは大丈夫かしら？と、親の方が不安な毎日だったような気がします。また遠足、運動会など、いろいろな行事に参加して、子供の成長の姿を見るたびに、子育てのむずかしさを、痛感させられた思いです。

息子も四月からは、ピカピカの一年生。親の心配をよそに早くも心は、小学校生活への期待でいっぱいのです。とにかく今は、友達と仲良く、そして、早く小学校生活に慣れて頑張ってくね！と、親心をちよつぱりのぞかせ、小学校への入学を家族で楽しみにしている毎日です。

たとえば「桜肉」略して「桜」といえば、馬肉のこと。色が桜色だからついた俗称です。

江戸時代の劇場で、頼まれて役者に声をかける見物人が「サクラ」と呼ばれたのは、花見と同様ただで見られたからでした。露店などで客を装って買うふりをし、他の客の購買欲を誘う仲間を「サクラ」というのも、芝居の「サクラ」からきたとされています。

昭和20年頃の乗合バスである。当時の乗客は、長い棒の先に赤い布をつけて目印に立てておくと、バスが停まることになっていた。降りる時はどこへでも停めた。また病人を乗せると寝床まで運んだという。悠長な時代であった。現在はバスの乗客数が減り、自家用車が急速に伸びた。(材木町・佐藤良治氏提供)



たかのすの昔





「鷹」おこし 物産展を開催

鷹巣町民工芸品研究会では、地域に埋もれた技術と資源を活かして、地場産業を見直すのテーマで「鷹おこし物産展」を開催します。

一般建具、家具、板金工芸、桶樽、紙、わら細工、民芸品、工芸品、地場産物など一堂に展示しますので、多数ご観覧ください。

また、期間中「なんでも掘りおこし即売コーナー」、観賞コーナー」を設けますので、売品、非売品にかかわらず一般町民の出展を歓迎します。振ってご応募ください。

▽期日〓四月九日～十一日(午前九時～午後六時)

▽場所〓中央公民館分館ホール(旧鷹小)

▽問い合わせ先〓こさか民芸品

(六二二二二四九)、畠山
木工所(六二二〇八六三)
米代銘木工芸(六三三二二
四九・六三一〇六三四)へ

母子健康手帳 交付と妊婦教室

妊婦を対象とした、母子健康手帳交付、妊婦教室などの日程は次のとおりです。

▽日程〓四月四日、十日

▽受付時間〓午後零時三十分から一時(終了時間三時)

▽妊婦教室内容〓妊娠中の栄養、母乳栄養、母子健康手帳の使い方、映写など

▽持参品〓印鑑

▽場所〓中央公民館保健相談室

老人の精神衛生 相談室を開設

鷹巣保健所では、老人性痴呆疾患など、老人の精神衛生に関する相談室、一般健康相談室を開設しました。

医師、保健婦が直接相談に応じますのでご利用ください。

▽精神保健相談〓四月十三日、二十七日(午後一時～二時三十分)

▽一般健康相談〓四月十四日、

二十八日(午前九時～十一時)
▽場所〓鷹巣保健所

固定資産課税 台帳の縦覧

昭和六十三年年度の固定資産税の課税の基礎となる、固定資産課税台帳を次により縦覧に供します。

▽期間〓四月一日から四月二十日まで。(平日は午前八時三十分から午後五時まで、土曜日は零時三十分まで。日曜日は除きます。)

▽場所〓役場税務課資産係

郵便貯金の利子非課 税制度が変わります

四月から、郵便貯金の利子非課税制度が改定されます。

新しい非課税制度は六十五歳以上の方や寡婦年金(母子年金を含む)を受給している方等が対象となります。

非課税の対象者であっても、一定の手続きをしなければ課税扱いとなりますので、早めに手続きをしてください。

詳しいことについては、鷹巣郵便局貯金係(六二二一四八六)へお問い合わせください。

夜間当番医(夜間診療)の日程表

(午後6時30分～9時)

4月	曜日	医療機関名
1	金	盛岡外科医院
2	土	戸嶋医院
3	日	戸嶋産婦人科医院
4	月	鷹巣病院
5	火	奈良医院
6	水	佐藤外科消化器科医院
7	木	近藤医院
8	金	北秋中央病院
9	土	佐々木産婦人科医院
10	日	藤原医院
11	月	盛岡外科医院
12	火	戸嶋医院
13	水	戸嶋産婦人科医院
14	木	近藤医院
15	金	奈良医院

急患以外は受けません。

福祉関係住宅整備資金の申込み受付

◆資金貸付を利用できるのは

- ▼60歳以上のお年寄りのための居室整備
- ▼重度の心身障害者のための居室整備
- ▼母子・寡婦世帯の住宅整備

以上の場合で自力で整備することが困難な人です。

◆貸付の内容は次のとおりです

資金の種類	貸付限度額	利率	償還期間	償還方法
高齢者居室整備資金	100万円	年3%	1年据置9年間	元利均等年賦
心身障害者居室整備資金	150万円	//	//	//
母子・寡婦世帯住宅整備資金	100万円	無利子年3%	//	(4年賦でも可)

◆申込みには次の書類が必要です

- ▼貸付申請書(福祉係にあります)
- ▼工事見積書
- ▼整備箇所がわかる平面図

◆受付は4月30日まで、町民課福祉係

おしらせ



一線美術会運営委員 九島寮二氏

四月の健康相談

四月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は十三日と二十七日です。時間は午前十時から午後三時までです。

午前中は血圧測定のほか尿検査、体重測定など、午後は慢性病予防教室で次のとおり行います。▽13日＝腎臓病を予防する日常生活、▽27日＝お酒と肝臓病

リハビリ学級は二十日です。在宅脳卒中後遺症の方を対象に行います。時間は午前十時から午後三時まで。

※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

四カ月児健康診査は二十六日です。

対象は六十二年十二月生まれのお子さんです。小児ガンの早期発見の検査もしますので、必ず受診してください。受付時間は午後一時から一時三十分まで。

離乳食指導と七カ月児健康相談は二十六日です。

対象は六十二年九月生まれのお子さんです。受付時間は午前九時三十分から十時まで。母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。※場所はいずれも鷹巣保健所です。

一歳六カ月児健康診査は七日です。

対象は六十一年八月、九月生まれのお子さんです。受付時間は午後零時四十分から一時二十分まで。母子健康手帳、問診票、バスタオルをお持ち

ください。

フツ素イオンむし歯予防は七日です。

対象は満三歳児以上のお子さんです。時間は午後一時三十分から三時まで。

※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

生ワクチンの予防接種

生後三カ月から十八カ月までの乳幼児を対象に、経口ポリオワクチン（小児マヒと生ワクチン）の投与を行います。予備期間として四八カ月まで投与できます。

投与日は、鷹巣地区以外の方は十二日、鷹巣地区の方は十四日です。

以前一回しか投与されなかった場合は、必ず二回目の投与を受けてください。

受付時間は、午後一時から二時三十分まで中央公民館ホールで行います。

※禁忌と注意

生ワクチンに関する一般的な禁忌である免疫産生機能に異常ありと想定される場合は、投与を行いません。その他、下痢患者も治癒してから投与

します。母子健康手帳を必ずお持ちください。

善意

▽伊勢町＝九島寮二さんから一万円（「太鼓の館」構想図入賞金）

町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

▽田中＝成田昭夫さんから亡夫多治郎さんの香典返し

▽小森＝千葉太郎さんから亡父耕三さんの香典返し

▽塩釜市＝三浦アイさんから亡姉阿蘇キミさんの香典返し



3月1日～3月15日

■誕生おめでとうございます

松本 圭史（明宏 二男）住吉町

田村 阿弓（雄悦 長女）岩坂

永井 公也（亮 二男）東横町

中村 典幸（正幸 二男）今泉

千葉 俊浩（浩徳 二男）南鷹巣

高橋 綾均（長女）綴子上町

石田 哲也（幸栄 二男）大町

佐藤 祐純（純一 二男）坊沢大町

嶺脇 麻美（一弘 二女）材木町

加藤 僚太（毅 三男）元町

藤島 一茂（重信 長男）前野

米澤 森潤（長女）糠沢

鳴海 駿逸（篤樹 長男）南鷹巣

鳴海 亮逸（篤樹 二男）南鷹巣

二人の前途を祝福いたします

近藤 平川（実 貴）南鷹巣

高橋 俊秀（新田中）

田村 純子（岩坂）

藤原 文雄（元町）

近藤 福（森吉町）

高橋 晴美（材木町）

高橋 晴美（下町）

おくやみ申しあげます

佐藤 武夫（80歳）深沢

大淵 リヨ（70歳）花園町

小林 ユリ（81歳）松葉町

五十嵐 輝雄（70歳）摩当

阿蘇 キミ（80歳）宮前町

越後谷 勝弥（74歳）南鷹巣

高橋 チヨ（95歳）綴子上町

武田 キヨ（66歳）下町

戸田 七之助（79歳）脇神

津谷 権九郎（86歳）坊沢大町

出しましょう

区別日程表

鷹巣町内の家庭から出されるゴミの量は、一日二十九トン、一年で約八、七三四トン焼却場、埋立地へ運びこまれます。

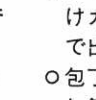
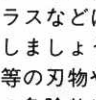
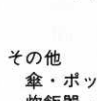
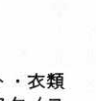
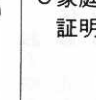
ゴミの量は年々増えていますが、ちよつと気を配れば量を減らすことができます。ゴミの減量にご協力してください。

▼燃やせるゴミと燃やせないゴミは、必ず区別して、指定日に集積所に出してください。



ルールを守って美しい街に

◇ゴミの正しい出し方

区分	ゴミの種類	ゴミの種類	出し方の注意
町で収集するゴミ	燃やせるゴミ	台所ごみ  木クズ  紙バック類  ポリ袋	 ○袋のくちはしは、しっかり結んで出しましょう。 ○袋の中には、ビニール類・プラスチック類・発泡スチロールを入れないでください。
	燃やせないゴミ	雑ビン  せともの  缶類  やかん  鍋類  ゴム類  ゴムホース  革製品  おもちゃ  プラスチック  発泡スチロール  布団  マットレス  その他 傘・ポット・衣類 炊飯器・タケノコ フキの皮	 ○スプレーなどは、穴をあけガラスなどは、つつんで出しましょう。 ○包丁等の刃物や焼鳥のくし等の危険物は危険防止のため危険又は注意と明記して下さい。 ○物干し竿、スキー等は1m以内に切断して出すようにして下さい。 ○ジュータン等の大きい物は、できるだけ小さく切って出して下さい。
町で収集しないゴミ	粗大ゴミ	電化製品・家具類 洗たく機  テレビ  自転車  いす・机  植木のせんてい樹木片  タイヤ 	○粗大ごみは収集しませんので、各自で埋立地へ運搬してください。 ○家庭用のごみは保健課衛生係で無料証明書を交付します。
	事業用ゴミ(営業用)	商店・スーパー・飲食店・事業所・工場・病院・遊技場等で営業上発生するゴミ。	○事業(営業)ゴミ、一時多量のゴミを運搬する場合は、有料ですので、保健課衛生係より利用券を購入の上運搬してください。
	多量ゴミ	引っ越しゴミ・家屋の新築・増改築等の建築廃材・植木を切ったもの等、一時多量のゴミ。	

わたしたちの
街をきれいに

ゴミは正しく

収集地

- ▼振替日（月曜日）は、
平常どおり収集しま
す。
- ▼乾電池、蛍光灯は役
場、公民館、地域の
会館、集会所などに
設置している保管箱
へ。
- ▼空ビン、ダンボール
など、資源として再
利用できるものは、
町内会などで廃品回
収業者に出しましょ
う。
- ▼埋立地へ運搬する場
合は、管理者の指示
に従ってください。
- ▼町営ゴミ埋立地は、徳
左エ門谷地埋立地（藤
株）彦四郎沢埋立地
（糠沢）です。第一、
第三金曜日は閉鎖し
ます。計画的に運搬
するようご協力くだ
さい。
- ▼問い合わせは保健課
衛生係（☎六二一―
一一一内線一三六）
へ。

◎燃やせるゴミの収集日（月～金曜日）

回数	収集曜日	地区名	町内・集落名	回数	収集曜日	地区名	町内・集落名
週1回区域 （祝日でも収集します）	月・木 曜	鷹巣	大町・米代町・東横町 宮前町・伊勢町・新舟見町 舟見町・幸町・内幸町 南鷹巣・西上綱	週2回区域 （祝日は収集しません）	月曜日	七日市	全 域
						沢口	小 森・中屋敷
	火・金 曜	鷹巣	元町・住吉町・松葉町 材木町・花園町・旭町 下家下・東上綱		水曜日	七座	全 域
						坊沢	相善町・羽立・坊沢上町 坊沢大町・街道町・新屋敷町
		沢口	舟場			綴子	上町・下町・小田 田子ヶ沢・松原・岩谷 二本杉・大畑・糠沢 昭和・大堤
		鷹巣	前野団地・田中・掛泥 高野尻・高野尻団地 南田中・新田中			坊沢	緑ヶ丘・蟹沢
					木曜日	綴子	向黒沢
		坊沢	深関			栄	摩当・田沢・大沢・李岱・岩坂
		綴子				沢口	湯ノ岱・坊山・四渡 脇神・上野・藤株 小摩当・高村岱・堂ヶ岱 西陣場岱・川口・小ヶ田 湯車・佐助岱
		栄	太田・あけぼの町				

◎燃やせないゴミの収集日（土曜日）・祝日でも収集します。

収集曜日	地区名	町内・集落名	収集曜日	地区名	町内・集落名
第1週 土曜日	七座	全 域	第3週 土曜日	鷹巣	松葉町・材木町
	坊沢	全域（緑ヶ丘・蟹沢を除く）		綴子	向黒沢・掛泥・高野尻 高野尻団地・田中・新田中 南田中
	綴子	上町・下町・小田・田子ヶ沢・松原 岩谷・二本杉・大畑・糠沢・昭和・ 大堤・前野団地		栄	全 域
第2週 土曜日	鷹巣	元町・大町・米代町 住吉町・花園町・宮前町・旭町 伊勢町・東横町・新舟見町・舟見町 幸町・内幸町・下家下・東上綱 西上綱	第4週 土曜日	鷹巣	南鷹巣
				沢口	全 域
				坊沢	緑ヶ丘・蟹沢
				七日市	全 域

※第何週とは毎月の七曜表のこよみを見て月始めの土曜日から数えます。第5週の土曜日は休みになります。

昭和六十三年度狂犬病予防注射と登録を、下記の日程で実施しますので、指定された日時・場所で必ず受けてください。

犬を飼育されている方は、毎年登録と狂犬病予防注射が義務づけられています。予防注射のワクチンは、年一回だけの接種となり、年間有効です。

◆料金は一頭につき

登録料 二千百円、
予防注射料 二千百八十円

愛犬手帳を持参してください。

当日、都合により注射を受けられないときは最寄りの場所で受けるようにしてください。

集合注射日にもれた方は、獣医師の出張診料となりますので、料金が割高となります。

ペットのいる生活は楽しいものですが、その楽しさは、さまざまな世話をしながら共に暮らすことにあります。

愛犬家の方は、次の点に注意してください。

▽犬を散歩させるときは、割りばしかスコップ、ティッシュペーパー、ビニール袋を必ず持ち、犬の糞の後始末をしてください。

▽犬の放し飼いは、危害防止条例により罰せられます。犬を捨てた場合も罰金が科せられます。

▽犬のくさり、首輪等の用具は点検して、逃げださないようにしてください。

▽犬が不用になった場合は、保健所へ犬を連れていき、所有権放棄の手続きをしてください。（登録済みの犬に限る）

月 日	実施地区	接 種 場 所	時 間	月 日	実施地区	接 種 場 所	時 間
4月19日 (火)	七日市	明利又明石商店前	9:35～9:50	4月22日 (金)	鷹 巢	大町労働福祉会館前	10:10～10:30
		松沢会館前	10:00～10:15			宮前町公民館分館入口	10:35～11:00
		三ノ渡会館前	10:25～10:40			役場裏駐車場	11:05～11:40
		与助岱会館前	10:45～11:00			松葉町藤原医院向い駐車場	13:00～13:20
		葛黒林業センター前	11:05～11:25			材木町児童遊園地	13:25～13:45
		大畑会館前	11:30～11:45			あけぼの町建設省車庫前	13:50～14:10
		中畑会館前	11:50～12:05			伊勢町児童館前	14:15～14:35
		妹尾館会館前	13:30～13:45			新舟見町北星駐車場	14:40～15:00
		七日市農協前	13:50～14:20	4月25日 (月)	綴 子	松原斉藤和夫宅前	9:35～9:45
		七日市松前商店前	14:25～14:40			田子ヶ沢会館前	9:55～10:10
4月20日 (水)	七日市	吉野細田与七宅前	14:45～14:55			小田会館前	10:20～10:35
		横瀬会館前	15:05～15:20			綴子上町児童館前	10:40～11:00
		根木屋敷佐藤佐治郎宅前	15:25～15:45			下町基幹集落センター前	11:05～11:30
						大堤会館前	11:35～11:55
						昭和会館前	13:00～13:15
	沢 口					前野会館前	13:20～13:55
		上舟木生活改善センター前	9:35～9:45			新田中自動車学校前	14:05～14:20
		下舟木会館前	9:50～10:00			田中総合センター前	14:25～14:40
		吉ヶ沢・深沢会館前	10:05～10:15			新田中電話ボックス前	14:45～15:00
		品類会館前	10:25～10:35	4月26日 (火)	坊 沢	深 関 会 館 前	15:05～15:20
		岩脇会館前	10:40～11:05				
4月21日 (木)	沢 口	中屋敷会館前	11:15～11:35		七 座	今 泉 会 館 前	9:40～9:55
		小森会館前	13:00～13:25			七座健康増進センター前	10:00～10:15
		小四渡会館前	13:35～13:45			前山会館前	10:20～10:40
		坊山会館前	13:55～14:05			伊勢堂小笠原勇夫宅前	10:45～10:55
		湯ノ岱会館前	14:10～14:20			黒沢生活改善センター前	11:10～11:20
	坊 沢	上野児童遊園地	14:30～14:45	4月28日 (木)	綴 子	糠 沢 会 館 前	13:00～13:25
		脇神会館前	14:50～15:15			合地バス停留所前	13:30～13:40
4月22日 (金)	鷹 巢	藤株会館前	9:25～9:45			大畑会館前	13:45～14:00
		摩摩当会館前	9:50～10:00			二本杉会館前	14:10～14:20
		小堂ヶ岱会館前	10:10～10:35			岩谷林業センター前	14:30～14:40
		高村岱青葉荘前	10:40～10:50		栄	李 岱 会 館 前	9:50～10:05
		南鷹巣会館前	10:55～11:20			岩坂田村末三郎宅前	10:15～10:30
	坊 沢	舟場会館前	11:25～11:45			田沢亀山正太郎宅前	10:40～10:50
		川口会館前	13:00～13:10			摩当生活改善センター	11:00～11:25
		小ヶ田生活改善センター前	13:15～13:25			太田児童館前	11:30～11:55
					綴 子	掛泥今川商店前	13:00～13:20
						掛泥会館前	13:25～13:45
	鷹 巢					高野尻会館前	13:50～14:05
		元町小塚電機商会前	9:20～9:40			向黒沢山内清松宅前	14:10～14:25
		中岱保健所前	9:45～10:05				